

令和5年度 事業報告書

I 会 議

1 総 会

- (1) 第 68 回通常総会 令和 5 年 6 月 26 日 仙台市・JA ビル宮城 11 階 大会議室
- 議 案
- 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告、決算報告並びに公益目的支出計画実施報告
について
- 第 2 号議案 令和 5 年度事業計画並びに収支予算の報告について
- 第 3 号議案 令和 5 年度会費について
- 第 4 号議案 令和 5 年度役員報酬について
- 第 5 号議案 役員補選について

2 理 事 会

- (1) 第 1 回理事会 令和 5 年 6 月 9 日 仙台市・JA ビル宮城 11 階 第 1 会議室
- 議 案
- 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告、決算報告並びに公益目的支出計画実施報告
について
- 第 2 号議案 令和 5 年度会費について
- 第 3 号議案 令和 5 年度役員報酬について
- 第 4 号議案 役員補選について
- 第 5 号議案 令和 5 年度通常総会の開催期日並びに提出議案について
- 第 6 号議案 仙南事業所の事務所移転について
- 報 告 事 項
- 1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の交付状況について

- (2) 第 2 回理事会 令和 5 年 6 月 26 日 仙台市・JA ビル宮城 11 階 第 1 会議室
- 議 案
- 第 1 号議案 副会長の選任について

- (3) 第 3 回理事会 令和 5 年 8 月 2 日 仙台市・ホテル白萩 3 階 高砂の間
- 議 案
- 第 1 号議案 会長の互選について

- (4) 第 4 回理事会 令和 6 年 3 月 19 日 仙台市・JA ビル宮城 11 階 第 1 会議室
- 議 案
- 第 1 号議案 令和 5 年度事業計画並びに収支予算の変更について

- 第2号議案 令和6年度事業計画並びに収支予算（案）について
第3号議案 令和6年度一時借入金最高限度額について
第4号議案 家畜死体冷却保管施設の修繕について
第5号議案 規程の一部改正について
- 報告事項 1) 和子牛生産者臨時経営支援事業について
2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)の交付状況について

3 監事会

(1) 監事会 令和5年5月24日 宮城県畜産協会 会議室

監査事項 令和4年度事業報告、令和4年度決算報告並びに公益目的支出計画
実施報告に関する監査

II 畜産経営支援対策事業

1 畜産経営技術高度化促進事業（宮城県：実績額 4,653,934円）

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れ生産性の高い畜産経営体の育成と指導者の養成を図り、経営体のレベルの向上と実態に応じた診断指導、調査等総合的な支援指導を実施し、畜産経営の安定と生産基盤の育成強化に努めた。

(1) 畜産経営支援指導研究会の開催

畜産経営技術指導を効果的かつ効率的に実施するため、畜産の実情に対応した将来の畜産経営指導の展開方向、具体的な指導内容・方法及び関係機関の機能分担等について検討協議するため、県及び関係団体をもって構成する総合委員会を書面開催した。

区分	開催年月日	委員数	内容
総合委員会	令和5年7月18日	11名	①令和4年度実績について ②令和5年度畜種別指導方針について ③宮城県酪農・肉用牛生産近代化計画について ④各関係機関からの畜産における近況報告

(2) 畜産コンサルタント団の設置

県及び畜産関係団体、学識経験者等幅広い分野の専門家をもって構成する畜産コンサルタント団を設置し、畜産経営体からの診断及び巡回指導要請に対応した指導を実施した。

畜産コンサルタント団設置の状況

総括畜産コンサルタント	畜産コンサルタント	非常勤畜産コンサルタント
3名	9名	24名

(3) 地域畜産経営体相談窓口指導

畜産経営体の支援指導を円滑に推進するため、日常的な経営体の状況把握・指導、地域における指導の連絡調整等指導相談の窓口を設置し、畜産経営体等からの延95件の相談・要請に対応した支援指導を実施した。

区分	設置場所	担当地域
常設	宮城県畜産協会 本所	県一円
	宮城県畜産協会 仙南事業所	仙台、大河原管内
	宮城県畜産協会 中央事業所	大崎、石巻、登米、栗原管内
臨時	みやぎ総合家畜市場（市場開設時）	県一円

(4) 畜産経営技術指導用機器の整備

畜産経営体の支援指導を効果的かつ効率的に実施するため、コンピューター等関連機器を整備した。

(5) 畜産経営技術支援指導

畜産経営体の要請に基づき、その経営水準、実態等に対応した診断指導を実施し、経営改善のための効果的な支援指導を実施した。

畜産経営技術の支援指導実施状況（個別指導）

経営区分	改善指導	経営管理 技術指導	フォローアップ 指 導	計	備 考
酪 農	1 件	31 件	27 件	59 件	
肉用牛	2 件	11 件	17 件	30 件	
養 豚	0 件	2 件	2 件	4 件	
養 鶏	0 件	0 件	0 件	0 件	
計	3 件	44 件	46 件	93 件	

(6) 情報提供体制事業

パソコン通信網を活用した総合的な畜産関係情報の提供を図るため、ネットワークの開設と各種情報のデータベースを構築し、畜産経営技術の高度化に対応した効率的な支援指導を実施した。

(7) 畜産経営セミナー、交流会の開催

肉用牛経営と養豚経営における生産基盤の強化等を図るため、衛生飼養管理及び養豚経営の展望等をテーマにセミナーを開催した。

開催年月日	開催場所	参加人数	セミナー・交流会の具体的内容
令和5年 7月27日	ハイブリット 開 催 大崎市	64名 (内リモート参加者 28名)	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮城県における豚熱対策について」 宮城県家畜防疫対策室衛生安全班 技術主査 佐久間 晶子 氏 ・「県内養豚場の豚熱ワクチン抗体調査及び野生いのししの豚熱感染状況について」 仙台家畜保健衛生所病性鑑定班 技師 齋藤 拓海 氏 ・「豚熱防疫対策並びに発生時の対応及び発生の取組」 株式会社ヒルズ 取締役副社長 佐藤 富男 氏
令和6年 2月27日	大崎市	80名	<ul style="list-style-type: none"> ・「新生子牛の疾病予防」 宮城県農業共済組合県北家畜診療センター 損防課課長補佐 黒岩 朋子 氏
3月1日	ハイブリット 開 催 大崎市	55名 (内リモート参加者 11名)	<ul style="list-style-type: none"> ・「豚の健康を守る(ポスト)イムノバイオテックスの魅力と将来性」 東北大学大学院 農学研究科 研究科長・学部長 北澤 春樹 氏 ・「生産現場におけるイムノバイオテックス発酵飼料給与とその効果の事例紹介」 宮城大学 食産業学群生物生産学類 教授 須田 義人 氏
3月6日	美里町	33名	<ul style="list-style-type: none"> 県内モーモー母ちゃんの集い ・基調講演「モーモー母ちゃん、NOSAI を呼ぶ前に出来る事(お産～子牛の育成編)」 宮城県農業共済組合中央家畜診療センター 診療課診療係長 佐藤 めぐみ 氏 ・一分間スピーチ(出席者全員) ・全国モーモー母ちゃんの集い報告

(8) 研修事業への参加

畜産経営指導事業並びに組織運営に必要な専門的知識及び技術の習得を図るため、中央畜産会等が主催する研修等に職員を派遣し、事業の円滑な推進に努めた。

開催年月日	開催場所	参加人員	研修内容
令和5年 6月23日	東京都	1名	畜産経営分析システム研修会
6月27日～30日	福島県	1名	中央畜産技術研修会(放牧)
7月20日～21日	東京都	1名	経営指導技術向上事業に係る 総括畜産コンサルタント研修会
10月10日～13日	広島県	1名	経営指導技術向上事業に係る 経営指導従事者研修(実践編)
令和6年 2月15日	東京都	1名	畜産経営分析システム研修会

2 畜産経営技術指導事業 (地方競馬全国協会：実績額 27,553,000円)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、研修会等の開催の制限はあったが、WEB利用等により可能な限り畜産農家の育成と経営の安定的発展を図るため、県並びに関係団体と連携の下に基幹職員を配置し、畜産経営指導並びに家畜改良指導及び畜産物消費拡大、馬事振興等の多岐にわたる業務を実施した。

- (1) 畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化を図った。
- (2) 地域畜産に対する理解増進等畜産関連公益活動体制の強化を図った。
- (3) 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図った。

3 畜産特別資金等推進指導事業 (中央畜産会：実績額 3,633,837円)

畜産特別資金利子補給事業の円滑な実施を図るため、宮城県大家畜・養豚経営改善推進協議会を中心として、畜産特別資金借受者5戸(酪農2戸、肉用牛2戸、養豚1戸)の農家に対し巡回指導を実施した。

4 畜産機械施設貸付調査指導事業 (畜産近代化リース協会：実績額 278,697円)

貸付事業の利用拡大を図るため、畜産経営者等に対し説明会を開催するとともに、機器の適正な管理状況を把握するため現地調査(1戸8機)を実施した。

5 地域畜産支援指導体制強化事業 (中央畜産会：実績額 2,502,773円)

(1) 畜産関係団体調整機能強化事業

各種研修会や全国会議等に参加し最新の情報等を収集するとともに、会議や相談窓口での関係者への情報提供に努めた。

また、本県女性ネットワークの構築を進め、今後益々の会員増加を図るべく、生産者に役立つ研修会(生産技術、経営管理、資金調達など)や生産者同士の意見交換、情報交換等を行いネットワークの充実を図った。

(2) 畜産経営相談窓口整備

生産者及び関係機関からの各種相談に応じるため依頼先等へ出向き、畜産の振興を図ると共に、各種研修会等へ参加し役職員の知識の向上に努めた。

- 6 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）（中央畜産会：実績額 66,000 円）
日本政策金融公庫資金の借入者 3 戸（肉用牛肥育）に対して、経営課題抽出及び借入後の計画作成支援等を実施し、借入金の円滑な償還と経営の安定化を支援した。
- 7 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）
（農畜産業振興機構：実績額 25,273,393 円）
肉用牛生産基盤の強化を図り、肉用牛の生産振興、生産性の向上を図る事業を支援するため、肉用牛生産集団等が行う事業に対し補助した。

区 分	事 業 内 容	農協・集団名
1 中核的担い手育成増頭推進	中核的担い手生産者が、増頭した繁殖雌牛への奨励金交付 (11 戸、46 頭)	みやぎ仙南、みやぎ亙理、仙台、新みやぎ、みやぎ登米、いしのまき (計 6 集団)
2 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	地域の和牛改良に必要な優良繁殖雌牛の導入に対して奨励金交付 (28 戸、36 頭)	みやぎ仙南、名取岩沼、古川、新みやぎ、みやぎ登米、みやぎ農業振興公社 (計 6 集団)
3 優良繁殖雌牛導入支援	地域の和牛改良に必要な優良繁殖雌牛の導入に対して奨励金交付 (33 戸、47 頭)	みやぎ仙南、新みやぎ、みやぎ登米、みやぎ農業振興公社 (計 4 集団)
4 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備	増頭を要件とする簡易牛舎及び器具機材の整備 (パイプハウス牛舎等 1 棟)	全国農業協同組合連合会宮城県本部 (計 1 集団)
5 肉用牛ヘルパー推進	肉用牛ヘルパー活動の推進 (傷害保険料、ヘルパー利用料金)	JA 新みやぎ肉用牛ヘルパー部会、みやぎ登米肉用牛ヘルパー部会 (計 2 集団)

- 8 生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）（全国肉用牛振興基金協会：実績額 4,191,662 円）
牛肉の国内需要の増加と輸出拡大に対応するため、畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛を増頭した生産者に対して補助金を交付するため、農協等を対象に事業参加要望書や繁殖雌牛台帳の取りまとめ等を実施し、肉用牛の生産振興に資した。

農協・取組主体名	実績		
	戸数	頭数	金額
みやぎ仙南、仙台、古川、加美よつば、新みやぎ、みやぎ登米、いしのまき、宮城県域全肉協畜産クラスター協議会 (計 8 集団)	61 戸	205 頭	46,241,000 円

- 9 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査（中央畜産会：実績額 240,000 円）
畜産クラスターにおける中心的経営体の指標作成に資するため、優良畜産経営体 3 戸（酪農 1 戸、肉用牛繁殖 1 戸、肉用牛肥育 1 戸）の経営実態調査を実施した。
- 10 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）に係る事業推進業務
（中央畜産会：実績額 3,653,264 円）
畜産クラスター事業の機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産クラスター協議会等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを行った。

宮城県内における事業参加要望書等の取りまとめ状況(未完了要望回次分)

(令和6年3月末現在)

要望調査回次	協議会数	項目	要望件数	承認件数	実績報告書提出件数	実績報告書未提出件数
令和3年	9協議会	人数	63人	59人	57人	2人
		機械数	89機	84機	82機	2機
		補助金	159,494千円	135,345千円	127,734千円	7,611千円
令和4年	9協議会	人数	48人	35人	32人	3人
		機械数	82機	59機	56機	3機
		補助金	134,624千円	89,173千円	80,774千円	8,399千円
令和5年	6協議会	人数	17人	14人	11人	3人
		機械数	228機	224機	14機	210機
		補助金	118,448千円	96,466千円	15,117千円	81,349千円
計	—	人数	延128人	延108人	延100人	延8人
		機械数	399機	367機	155機	215機
		補助金	412,566千円	320,984千円	223,625千円	97,359千円

11 生産技術情報提供事業（家畜生産性向上対策事業）

（中央畜産会：実績額 186,000 円）

酪農1戸、肉用牛繁殖1戸、肉用牛肥育1戸に対し、家畜の生産性向上に係るデータ等の収集、分析及び技術指導を実施し、生産性の向上を図った。

12 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）に係る事業推進業務

（中央畜産会：実績額 271,301 円）

畜産経営体生産性向上対策事業（通称：ICT事業）の機械導入の円滑な推進を図るため、畜産ICT応援会議を対象に事業説明会、現地確認等を実施した。

13 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業に係る事業推進業務

（中央畜産会：実績額 761,560 円）

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（通称：楽酪GO事業）の円滑な推進を図るため、楽酪応援会議を対象に事業説明、現地確認等を実施した。

Ⅲ 家畜衛生対策事業

1 特定疾病自衛防疫推進事業（協会独自事業：実績額 98,901,915 円）

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止のため、地域ぐるみで予防接種を推進し、伝染病発生による損耗防止に努めた。

(頭)

予防接種の種類	地域別接種頭数						計
	仙南	中央	大崎	栗原	登米	石巻	
(1)豚丹毒ワクチン（生）	1,712	0	0	4,225	7,944	0	13,881
(2)豚丹毒ワクチン（不）	2,172	0	0	0	0	0	2,172
(3)豚三種混合ワクチン（生）	183	2	115	10	75	40	425
(4)アカバネ病ワクチン（生）	1,944	1,329	7,028	2,340	5,000	968	18,609
(5)牛五種混合ワクチン（生）	1,239	839	4,857	2,701	4,372	976	14,984
(6)牛ヘモフィルスワクチン（不）	1,268	942	4,517	2,727	4,335	935	14,724

2 自衛防疫推進事業（協会独自事業：実績額 2,384,772 円）

自衛防疫事業を円滑に推進するため、自衛防疫推進会議等を開催し、家畜衛生に関する知識の普及や情報の収集・伝達に努めた。

(1) 家畜自衛防疫推進会議等の開催状況

会議名	場所	開催回数	出席人数	備考
① 家畜自衛防疫推進会議	仙台市内	4回	89人	県、家畜保健衛生所職員等
② 家畜衛生専門委員会	〃	1回	20人	県、家畜保健衛生所長等

(2) 家畜自衛防疫事業推進事務交付金交付実績

交付先	交付金額	備考
市町村（29）	390,300円	アカバネ病等：注射負担金額×1%以内
農業協同組合（9）	540,900円	牛五種混合等：注射負担金額×1%以内
計	931,200円	

(3) 予防接種事故見舞金交付件数

予防接種の種類	畜種	交付件数
牛ヘモフィルスワクチン(不)	肉用牛	8件

3 家畜生産農場衛生対策事業（農林水産省：実績額 11,280,363 円）

疾病の感染拡大防止を図るため、ヨーネ病においては患畜摘発農場の同居牛淘汰費を、牛伝染性リンパ腫においては、共同放牧場、対策実施農場の抗体検査および高度感染牛の淘汰取組を支援した。

区 分		戸 数	頭 数
ヨーネ病	患畜摘発農場における同居牛対策（淘汰）	2 戸	8 頭
牛伝染性リンパ腫	共同放牧場等における対策（抗体検査）	148 戸	636 頭
	対策実施農場における対策（抗体検査）	1 戸	29 頭
	対策実施農場における対策（淘汰）	1 戸	1 頭

4 牛疾病検査円滑化推進対策事業（農林水産省：実績額 13,466,030 円）

我が国の牛海綿状脳症（BSE）対策の有効性を監視し、生産者や消費者の安心と信頼を確保維持するため、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づく、96 カ月齢以上の死亡牛等の検査を実施した所有者等に対し、管理・輸送・処理に係る経費を補助し、BSE 検査の円滑な推進に努めた。

また、県家畜防疫対策室、家畜保健衛生所、県域団体、死亡牛収集運搬業者等で構成する宮城県死亡牛緊急検査処理円滑化推進協議会を開催し、死亡牛の円滑な収集運搬及び処理のための取組と良好な家畜衛生並びに環境の維持を図り、畜産の健全な発展に努めた。

（1）死亡牛検査処理安定対策

区 分	補助対象頭数			金 額
	県北地域	県南地域	計	
輸送促進費	368 頭	140 頭	508 頭	県北地域： 1,656,000 円 県南地域： 560,000 円
適正処理費	368 頭	0 頭	368 頭	県北地域： 2,760,000 円
計				4,976,000 円

（2）死亡牛検査支援対策

区 分	補助対象頭数			単 価	金 額
	県北地域	県南地域	計		
BSE 検査費補助	365 頭	138 頭	503 頭	7,400 円	3,722,200 円

* 検査不能頭数：5 頭（県北：3 頭、県南：2 頭） 焼死：4 頭、腐敗：1 頭

5 畜産物衛生環境整備円滑化事業（協会事業、宮城県：実績額 9,855,188 円）

県内で発生する死亡家畜の処理を円滑かつ効率的に推進するため、一時保管する家畜死体冷却保管施設及び家畜死体冷凍運搬車の利用について、死亡牛輸送業者 3 社及び関係者と協議し、家畜疾病のまん延防止を図り、家畜飼養衛生環境の保全に努めるとともに、老朽化に伴う施設の修繕・改修等の工事を行った。

また、96 カ月齢以上の死亡牛等の BSE 全頭検査の採材場所として「宮城県死亡獣畜取扱施設」を利用し、県が実施する検査の円滑な推進を支援した。

(1) 家畜死体冷却保管施設利用頭数

区 分	牛	豚	馬	綿羊・山羊等	計
頭数(頭)	4,654	6,679	14	78	11,425
重量(t)	1,396.20	601.11	5.60	6.63	2,009.54

(2) 死亡獣畜取扱施設の利用頭数

畜 種	取扱頭数	取扱対象牛	BSE 検査結果
牛	365 頭	96 カ月齢以上の死亡牛等	全頭陰性

(3) 家畜死体冷凍運搬車利用頭数

畜 種	利用頭数	利用対象牛	BSE 検査結果
牛	140 頭	96 カ月齢以上の死亡牛等	全頭陰性

(4) 施設の修繕・改修等

区 分	年 月	修繕・改修工事等
家畜死体冷却保管施設	令和5年 5月	レール研磨・修理
	6月	高圧洗浄機修繕
	9月	シャッター修繕
	10月	高圧洗浄機修繕
		電気系統工事
	11月	アスファルト舗装工事
		高圧洗浄機更新
令和6年 3月	シャッター修繕	
家畜死体冷凍運搬車	令和5年 10月	エバポレーター修繕
	令和6年 3月	冷凍機モーターベルト交換

6 家畜防疫・衛生指導対策事業 (中央畜産会：実績額 6,599,023 円)

(1) 地域自衛防疫推進事業

地域での伝染病発生時の対応等を支援するため、伝染性疾病の発生に備えた防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取り組みの啓発等の検討を行うとともに、生産者段階での防疫演習等の実施、生産現場における家畜防疫体制の強化を図ることにより、伝染性疾病の発生予防等防疫措置の徹底に努めた。

区 分	開催月日	開催場所	人数	備 考
防疫演習 (計 12 回)	令和5年 8月 2日	仙台市青葉区	34名	県職員(畜産課、家保、農業関係、土木、一般職員等)、市町村、農協・畜産団体、建設業協会、警察、生産者 (延べ1,058名)
	8月 30日	仙台市青葉区	125名	
	9月 28日	亶理郡山元町	100名	
	10月 4日	大崎市古川	93名	
	10月 11日	大崎市古川	88名	
	10月 17日	大崎市三本木	106名	
	10月 13日	栗原市楽館	80名	
	10月 26日	南三陸町歌津	72名	
	10月 31日	柴田郡大河原町	113名	
	11月 1日	仙台市青葉区	119名	
	11月 8日	登米市迫町	86名	
	12月 1日	登米市中田町	42名	

(2) 地域農場HACCP認証支援事業

県内における農場HACCP認証に取り組む農場及び認証取得農場が継続的改善を図ることに対し、専門家による構築指導等を行い、地域に農場HACCP取組の中核となる農家を育成し、普及推進を図った。

区 分	実 績	備 考
構築指導意見交換	5 戸	肉用牛：1 農場 養 豚：1 農場 養 鶏：3 農場

7 育成馬等予防接種推進事業 (中央畜産会：実績額 167,640 円)

競走馬生産の安定維持・発展のため、生産農場の育成馬及び繁殖牝馬について予防接種（馬三種混合及び馬インフルエンザ）を実施し疾病発生予防を図った。

ワクチンの種類	接種戸数	接種頭数
馬三種混合ワクチン（1歳補強）	0 戸	0 頭
馬インフルエンザワクチン（繁殖牝馬）	2 戸	4 頭

8 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会：実績額 1,238,936 円）

馬生産地における伝染性疾病の防疫強化を図るため、馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、乗用馬を対象とした馬インフルエンザワクチン接種及び軽種馬等の繁殖牝馬を対象とした馬鼻肺炎ワクチン接種を推進した。

(1) 馬防疫強化地域推進対策事業

区 分	開催期日	開催場所	出席人数
地域推進対策会議	令和5年5月12日	仙台市	25名
	令和6年1月18日		22名
	3月12日		21名

(2) 馬ワクチン接種推進事業

ワクチンの種類	対象馬	接種戸数	接種頭数
馬インフルエンザワクチン	競走馬以外の乗用馬	7 戸	79 頭(延べ 158 頭)
馬鼻肺炎ワクチン	繁殖牝馬	2 戸	4 頭(延べ 8 頭)

9 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会：実績額 5,717,813 円）

口蹄疫や豚熱等の越境性動物疾病が発生した場合、生産者による自主的な互助制度により生産者が飼養する牛及び豚の淘汰に伴う畜産経営への影響を緩和するため、本制度の普及啓蒙を図ると共に、これらの伝染性疾病の発生防止に向け、関係者連携のもと生産者へ飼養衛生管理基準の遵守を促した。

(1) 事業実施期間：令和3年度～令和5年度（3年間）

(2) 事務委託先：農協及び酪農団体等 13 団体

(3) 契約状況 (令和6年3月31日現在)

畜種	契約戸数	契約頭数	積立金額
乳用牛	2,494戸	18,023頭	3,658,615円
肉用牛		75,518頭	11,880,575円
小計		93,541頭	15,539,190円
豚	59戸	177,643頭	24,639,595円
合計	2,553戸	271,184頭	40,178,785円

10 宮城県生乳取扱者認定講習会及びフォローアップ研修事業

(酪農団体：実績額 849,546円)

(1) 認定委員会

学識経験者及び酪農団体の長を認定委員に委嘱し、令和5年度事業計画及び宮城県生乳取扱者の認定等について、委員会を開催した。

開催月日	場 所	出席人数	内 容
令和5年8月22日	日立システムズホール仙台	10名	①認定委員委嘱状交付 ②令和元年度実績について ③令和5年度計画について ④その他
12月15日	日立システムズホール仙台	9名	①令和5年度生乳取扱者の認定 ②今後のスケジュールについて ③その他

(2) 認定講習会

宮城県における生乳の乳質改善と今後の生乳品質格付け方法の多様性に対処するため、生乳取扱者の生乳等に関する知識及び総合的検査技術の向上と県内統一した基準に基づく生乳の検査、衛生的取扱の適正化を推進するため、講習会を開催し、6名に認定証の交付を行った。

開催月日	場 所	出席人数	内 容
令和5年11月14日 ～15日	日立システムズホール仙台	16名 (受講生6名)	①酪農乳業情勢 ②食品衛生法(乳等省令) ③生乳の理化学的性状 ④生乳の微生物と品質管理 ⑤生乳の検査体制と検査方法

(3) フォローアップ研修会

宮城県内における酪農乳業団体に所属し、受乳、検査、格付け及び乳質改善指導等の業務に従事している職員を対象に、研修会及び意見交換会を実施した。

開催月日	場 所	出席人数	内 容
令和6年1月29日	日立システムズホール仙台	23名 (受講生14名)	①酪農乳業情勢 ②食品衛生法(乳等省令) ③牛乳のサイエンスと品質検査の変遷 ④牛乳試飲会 ⑤意見交換会

- 11 獣医師養成確保修学資金給付事業（農林水産省・共同負担者：実績額 2,425,478 円）
産業動物獣医師を志す者 1 名に対し、獣医師養成確保修学資金を給付し、有能な産業動物獣医師の養成及び確保を図り、宮城県産業動物の診療体制の整備と畜産振興に寄与した。

給付者	給付額
酪農学園大学 4 年生	180,000 円/月

- 12 宮城県牛乳協会業務受託（受託額 3,600,000 円）
学校給食用牛乳の計画的・効率的な供給、牛乳の表示規格制度の適格な実施、牛乳・乳製品の利用拡大等を通じ、消費者に安全安心な牛乳・乳製品を安定的に供給した。
- 13 宮城県豚熱経ロワクチン協議会業務受託（受託額 625,559 円）
宮城県豚熱経ロワクチン対策協議会が実施する野生イノシシへの豚熱経ロワクチンの散布・回収事業の会計事務を行った。

IV 家畜価格安定対策事業

1 肉用子牛生産者補給金制度（農畜産業振興機構）

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に生産者に対し生産者補給金を交付するため生産者積立金を造成し肉用子牛生産の安定を図った。

（令和6年3月31日現在の契約生産者は 2,455 戸）

（1）生産者積立金の造成（実績額 51,674,800 円）

生産者、宮城県、国の三者が 1：1：2 の割合で生産者補給金の交付に備え、生産者積立金を造成した。

令和5年度生産者積立金造成対象期間：令和5年1月1日～令和5年12月31日

品種区分		契約頭数 (頭)	積立金単価 (円)	積立額 (円)	負担区分 (円)		
					生産者	宮城県	農畜産業振興機構
黒毛和種	1月1日～ 12月31日	18,508	1,600	29,612,800	7,403,200	7,403,200	14,806,400
褐毛和種	1月1日～ 12月31日	32	6,000	192,000	48,000	48,000	96,000
その他の肉専用種	1月1日～ 12月31日	3	18,800	56,400	14,100	14,100	28,200
乳用種	1月1日～ 12月31日	1,094	6,800	7,439,200	1,859,800	1,859,800	3,719,600
交雑種	1月1日～ 12月31日	4,492	3,200	14,374,400	3,593,600	3,593,600	7,187,200
計		24,129	—	51,674,800	12,918,700	12,918,700	25,837,400

（2）生産者補給金の交付実績（実績額 297,911,500 円）

令和5年度は、黒毛和種、乳用種において、四半期毎の平均売買価格が保証基準価格を下回ったため、黒毛和種においては21年ぶりの発動があった。

保証基準価格・合理化目標価格・平均売買価格（単位：円）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	交雑種	
保証基準価格 (※令和4年度保証基準価格)	556,000 (541,000)	507,000 (498,000)	325,000 (320,000)	164,000 (164,000)	274,000 (274,000)	
合理化目標価格 (※令和4年度合理化目標価格)	439,000 (429,000)	400,000 (395,000)	256,000 (253,000)	110,000 (110,000)	216,000 (216,000)	
平均売買価格	4年度 ※適用 第4四半期	613,600	523,500	252,300	148,100	308,200
	5年度 第1四半期	586,800	534,000	—	170,200	304,200
	第2四半期	521,600	553,000	—	196,900	299,600
	第3四半期	522,500	574,500	—	182,900	326,600

補給金の交付実績

交付時期		交付単価	戸数	頭数	金額	備考
肉用種	5年度 第2四半期	34,400円	1,270戸	4,299頭	147,885,600円	
	第3四半期	33,500円	1,251戸	4,364頭	146,194,000円	
	計	-	2,521戸	8,663頭	294,079,600円	
乳用種	4年度 ※適用 第4四半期	15,900円	5戸	241頭	3,831,900円	
合計		-	2,526戸	8,904頭	297,911,500円	

- 2 肉用子牛生産者補給金制度適正化事業（農畜産業振興機構：実績額 23,128,374円）
補給金制度の適正かつ円滑な運営を図るため業務推進会議の開催、事務委託先及び契約生産者に対し調査・指導を実施し、本制度加入の促進及び個体登録業務等の正確かつ迅速化に努めた。また、全国の品種別平均売買価格の算定に資するため、みやぎ総合家畜市場の肉用子牛取引情報を収集し（独）農畜産業振興機構へ毎月報告した。
- 3 指定協会運営体制支援事業（農畜産業振興機構：実績額 13,573,665円）
肉用子牛生産者補給金制度を適正かつ円滑に実施するため、指定協会の運営体制の強化を図った。
- 4 和子牛生産者臨時経営支援事業（農畜産業振興機構：実績額 450,621,830円）
肉用子牛（和牛のみ）の令和5年1月から令和6年3月販売分において、四半期毎のブロック別平均売買価格が、発動基準価格（黒毛和種 60万円・褐毛和種 55万円・その他肉専用種 35万円）を下回ったために、ブロック平均売買価格と発動基準価格との差額の4分の3の支援交付金を交付した。

奨励金の交付実績（黒毛和種）

交付対象期間	戸数	単価	頭数	交付金額
令和5年度第1四半期	1,332戸	26,000円	3,795頭	98,670,000円
第2四半期	1,172戸	33,000円	3,206頭	105,798,000円
第3四半期	1,177戸	33,000円	3,390頭	111,870,000円
第4四半期	1,152戸	40,800円	3,269頭	133,375,200円
計	4,833戸	—	13,660頭	449,713,200円

- 5 肉用牛肥育経営安定交付金制度（農畜産業振興機構）
肉用牛の枝肉価格が低落し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に差額分の9割を交付するため、生産者積立金を造成し、肥育経営の安定を図った。
令和5年度における品種別交付頭数は、肉専用種 17,065頭、交雑種 2,336頭、乳用種 30頭、合計 19,431頭となり、延べ 3,252戸に対して農畜産業振興機構交付金と肉用牛肥育安定基金取崩し額を合わせて 1,422,220,792円を交付した。
 - (1) 推進事務費（実績額 16,648,000円）
 - (2) 肉用牛肥育安定基金の造成（実績額 266,087,000円）
令和5年度造成対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

品 種 区 分	生産者積立金		
	造成頭数 (頭) ①	単価(円) ②	造成額 (円) ③=①×②
肉専用種	36	17,000	612,000
	15,791	14,000	221,074,000
交 雑 種	1	19,000	19,000
	2,600	17,000	44,200,000
乳 用 種	13	14,000	182,000
計	18,441		266,087,000

(3) 令和5年度肥育牛交付金交付実績総括表

販売月	品種区分	交付対象		肥育牛交付金	
		人数 (人)	頭数 (頭) ①	単価 (円) ②	金額 (円) ③=①×②
令和5年 1月 (精算払)	肉専用種	206	990	4,901.2	4,852,166
	交雑種	14	159	4,645.6	738,650
	乳用種	1	4	4,592.5	18,370
	計	221	1,153		5,609,186
2月	肉専用種	233	1,139	84,192.3	95,894,913
	交雑種	12	138	46,034.1	6,352,702
	乳用種	2	8	45,992.7	367,940
	計	247	1,285		102,615,555
3月	肉専用種	238	1,259	87,003.9	109,537,741
	交雑種	12	192	10,440.0	2,004,480
	乳用種	1	1	56,792.7	56,792
	計	251	1,452		111,599,013
4月	肉専用種	252	1,457	6,281.1	9,151,489
	交雑種	0	0	0.0	0
	乳用種	2	4	45,047.7	180,190
	計	254	1,461		9,331,679
5月	肉専用種	225	1,089	69,011.1	75,153,029
	交雑種	16	236	13,933.8	3,288,371
	乳用種	0	0	45,099.0	0
	計	241	1,325		78,441,400
6月	肉専用種	241	1,271	76,043.7	96,651,420
	交雑種	16	328	45,225.0	14,833,800
	乳用種	3	7	32,263.2	225,841
	計	260	1,606		111,711,061
7月	肉専用種	260	1,421	95,416.2	135,586,322
	交雑種	17	273	45,701.1	12,476,395
	乳用種	1	1	37,302.3	37,302
	計	278	1,695		148,100,019

販売月	品種区分	交付対象		肥育牛交付金	
		人数 (人)	頭数 (頭) ①	単価 (円) ②	金額 (円) ①×②
8月	肉専用種	227	1,174	169,674.3	199,197,516
	交雑種	15	271	56,643.3	15,350,328
	乳用種	0	0	32,547.6	0
	計	242	1,445		214,547,844
9月	肉専用種	237	1,324	160,290.0	212,223,960
	交雑種	15	271	53,065.8	14,380,826
	乳用種	0	0	0.0	0
	計	252	1,595		226,604,786
10月	肉専用種	221	1,371	136,530.9	187,183,713
	交雑種	13	229	51,198.3	11,724,405
	乳用種	0	0	0.0	0
	計	234	1,600		198,908,118
11月	肉専用種	259	1,703	60,617.7	103,231,821
	交雑種	15	239	16,210.8	4,717,335
	乳用種	0	0	0.0	0
	計	274	1,942		107,949,156
12月	肉専用種	284	1,760	32,505.3	57,209,199
	交雑種	0	0	0.0	0
	乳用種	0	0	6,732.9	0
	計	284	1,760		57,209,199
令和6年 1月 (概算払)	肉専用種	213	1,107	44,759.0	49,548,213
	交雑種	0	0	0.0	0
	乳用種	1	5	9,112.7	45,563
	計	214	1,112		49,593,776
合計	肉専用種	3,096	17,065		1,335,421,502
	交雑種	145	2,336		85,867,292
	乳用種	11	30		931,998
	合計	3,252	19,431		1,422,220,792

(4) 緊急支援金等返還業務

緊急支援金等交付対象者のうち未返還者3戸に対し返還請求書を発行し、農畜産業振興機構への返還業務を実施した。

①緊急支援金等交付実績

資金名	対象者数(戸)	交付頭数(頭)	交付金額(円)
緊急支援金	501	37,026	1,851,300,000
出荷遅延支援金	315	7,958	5,758,440,000
価格低下支援金	61	510	79,630,000
計	実524(延べ877)	45,494	7,689,370,000

②返還額（生産者からの返還額）

（令和6年3月31日現在）

資金名	返還済額（円）			未返還額 （円）
	平成23～令和4年度	令和5年度	計	
緊急支援金	1,851,300,000	0	1,851,300,000	0
出荷遅延支援金	5,746,820,000	1,660,000	5,748,480,000	9,960,000
価格低下支援金	79,630,000	0	79,630,000	0
預り金	841,417	▲148,316	693,101	▲693,101
計	7,678,591,417	1,511,684	7,680,103,101	9,266,899
未返還者からの 受取利息 (H27年10月から)	3,273,576	171,316	3,444,892	

6 肉豚経営安定交付金制度（生産者委託：実績額 893,940円）

肉豚経営安定交付金制度の円滑な推進を図るため、養豚生産者10戸との事務委託契約に基づき、書類申請及び関係書類保管等に関する助言指導等を実施し、養豚経営の安定に資した。

7 肉牛事故共助推進事業（全農宮城県本部：実績額 61,024,984円）

肉用牛生産者並びに出荷者団体からなる基金を造成し、全農宮城県本部が販売する肉牛に発生する事故に対しその損害を補償し、肉牛経営の安定を図った。

(1) 肉牛事故共助推進事業費（実績額 1,039,847円）

(2) 肉牛事故共助金（実績額 59,985,137円）

品種	頭数	金額
肉専用種	693	59,284,471
乳用種	4	272,761
交雑種	11	427,905
計	708	59,985,137

(3) 肉牛事故共助積立基金

（単位：円）

令和4年度繰越額 A	受取積立額 B	受取利息 C	交付額 D	令和5年度基金残高 A+B+C-D
33,437,584	57,793,595	281	59,985,137	31,246,323

V 家畜改良対策事業

1 家畜人工授精用精液流通調整事業（協会独自事業：実績額 197,551,686 円）

本県の家畜改良を円滑に推進し、乳牛及び和牛の生産拡大を図るため、宮城県畜産試験場繋養の種雄牛を主体に、県内7ヶ所のサブセンターにおいて、家畜人工授精師等に対し凍結精液の供給と液体窒素の配送を行うとともに、計画的交配の指導を実施し、家畜の改良増殖の推進と畜産経営の安定と発展に資した。

凍結精液供給本数

和 牛			乳 牛	液体窒素
県有牛	事業団等	計	事業団等	
19,863 本	10,059 本	29,922 本	2,228 本	41,020 kg

2 宮城県総合畜産共進会（協会独自事業：実績額 3,525,851 円）

家畜の改良意欲の高揚と飼養管理技術の向上を図るため、肉用牛・乳用牛及び肉豚の部の共進会を開催した。

区 分	開催年月日	開催場所	出品頭数
肉用牛	令和5年 9月8日～9日	美里町 みやぎ総合家畜市場	63 頭
乳用牛	9月28日	美里町 みやぎ総合家畜市場	25 頭
肉 豚	10月25日～27日	登米市 宮城県食肉流通公社	105 頭

3 種豚登録関連事業（日本養豚協会：実績額 788,260 円）

近年の養豚生産構造の変化に対処するため、登録関連制度の普及啓蒙と質的向上を図るため登録対象豚の選抜並びに適正な登録事業を推進した。

また、交配品種の多様化に伴う素豚の品質低下を防止するため、一代雑種豚血統証明等を含めた種豚登録事業を推進した。

登記・登録実績 (件)

区 分	種豚登録	一腹記録	子豚登記	一代雑種豚血統証明	各種移動証明	系統種豚証明
実 績	177	131	276	260	3	0

4 乳用種雄牛後代検定事業（家畜改良事業団：実績額 70,224 円）

遺伝的に優れた能力を有することが証明された種雄牛（検定済種雄牛）を計画的に作出し、広域的な利用を行う精液の保管と配布を行った。（調整交配配布本数 336 本）

- 5 宮城県ホルスタイン協会業務受託事業（受託額 4,950,000 円）
乳牛の登録事業、各種証明書の発行を行い、ホルスタイン種牛の優良な血統を保存し、形質の改良と能力の向上を図った。

VI その他

1 専門委員会

家畜衛生事業、和牛改良事業の推進に係る懸案事項について検討するため、各専門委員会を設置し事業の円滑な推進を図った。

2 褒賞の授与

畜産に関する各種共進会、共励会において成績優秀な者に対し褒賞を授与した。

3 畜産普及広報活動

- (1) 県内の畜産情報並びに技術の普及拡大を図るため、「畜産みやぎ」を年 6 回発行した。
- (2) 月刊「畜産コンサルタント」誌並びに指導資料を配布し、畜産技術の普及啓蒙を図った。

4 令和 5 年度役職員の異動状況

(1) 役員の状況

区 分	令和 5 年度当初	辞任	退任	就任	令和 6 年度当初
理 事	1 4	3	0	2	1 3
監 事	3	0	0	0	3
計	1 7	3	0	2	1 6

辞任理事：佐々木琢磨・橋本 和博・大友 良彦

就任理事：齋藤 裕・都築 祐一

(2) 職員の状況

区 分	令和 5 年度当初	令和 6 年度当初	増 減 (△)
正 職 員	1 5	1 3	△ 2
再 雇 用 者	6	7	1
嘱 託 職 員	3	2	△ 1
臨 時 職 員	7	8	1
派遣事務員	2	0	△ 2
指導相談員	0	1	1
計	3 3	3 1	△ 2

5 会 員 名 簿

(令和6年4月現在)

会 員 名		会 員 名	
1	宮城県	32	松 島 町
2	宮城県農業協同組合中央会	33	利 府 町
3	全国農業協同組合連合会宮城県本部	34	大 和 町
4	宮城県農業共済組合	35	大 郷 町
5	みやぎの酪農農業協同組合	36	大 衡 村
6	(公社)みやぎ農業振興公社	37	加 美 町
7	(一社)宮城県配合飼料価格安定基金協会	38	色 麻 町
8	(公社)宮城県獣医師会	39	涌 谷 町
9	宮城県牛乳協会	40	美 里 町
10	宮城県家畜商協同組合	41	南 三 陸 町
11	仙 台 市	42	みやぎ仙南農業協同組合
12	白 石 市	43	みやぎ亘理農業協同組合
13	角 田 市	44	名取岩沼農業協同組合
14	岩 沼 市	45	仙台農業協同組合
15	名 取 市	46	古川農業協同組合
16	大 崎 市	47	加美よつば農業協同組合
17	栗 原 市	48	新みやぎ農業協同組合
18	登 米 市	49	みやぎ登米農業協同組合
19	気 仙 沼 市	50	いしのまき農業協同組合
20	石 巻 市	51	宮城県酪農農業協同組合
21	東 松 島 市	52	(公社) 全国和牛登録協会宮城県支部
22	富 谷 市	53	宮城県家畜人工授精師協会
23	蔵 王 町	54	宮城県ホルスタイン協会
24	七ヶ 宿 町	55	(株)宮城県食肉流通公社
25	大 河 原 町	56	仙台中央食肉卸売市場(株)
26	村 田 町	57	プライフーズ(株)宮城農場
27	柴 田 町	58	(株)シムコ岩出山事業所
28	川 崎 町	59	(株)高清水養豚
29	丸 森 町	60	(株)サイボクファーム
30	亘 理 町	61	(株)しわひめスワイン
31	山 元 町	62	(株)栗原農場